

銚子ジオパーク市民の会ニュース

第88号

2018年9月27日

発行責任者：工藤 忠男

編集責任者：藤身 隆雄

TEL 0479-24-2225

<http://choshi-geopark.com/>



現地学習会「ジオガイド講座」始まる

銚子ジオパーク推進協議会事務局 岩本 直哉

ジオパーク講座に続き、態系文化のつながりを銚子ジオパークの見どころの現地学習会「ジオガイド講座」が始まりました。活動に興味がある方は是非ご参加ください。

ジオガイド講座は、その場所ごとの基礎的な説明を行うもので、ジオガイドを目指す人を対象としていますが、基礎を再びチェックしたいというガイドさんの参加も大歓迎です！今年度は、屏風ヶ浦・大岩・千騎ヶ岩⑧に開催、黒生・夫婦ヶ鼻・愛宕山(10/20)、外川漁港とまちなみ・犬吠埼(11/3)、栗島台遺跡・余山貝塚(2/2)・話しかた・マイクスピーカーの使い方講座(1/6)・普通救命講習(9/16)を予定しております。詳しくは銚子ジオパークのWEBサイトをご覧ください。

ジオガイドは、大地生



また、ガイド講座の際に事務局が作成した図を皆様が利用できるようにする準備中です。この図はガイド活動に限り自由に使用していいものとしております。準備でき次第、その際は事務局までご連絡下さい。

学習支援サポーター向け 事前勉強会に参加して

今年も、市内のすべての小学校を対象とした銚子ジオパーク見学学習会

が9月19日の椎柴小学校を皮切りに銚子ジオパーク推進協議会主催で行われます。

それを前に市民の会他サポーター希望者を対象に事前勉強会が9月12日、屏風ヶ浦で行われました。

講師は推進協議会事務局の岩本・山内両学芸員です。勉強会の内容を略記

学習会の前半は学芸員による地層の学習です。導入部は地図を使って子供達の学校及び屏風ヶ浦の位置を確認してもらいます。次いで屏風ヶ浦の名前の由来、江戸時代からの観光地で国の名勝

および天然記念物であること、海の波によって削られた長さ10kmに及ぶ崖であることなどを子供達は学びます。

研修に参加して

萩野 静也

私は、9月10日に銚子海洋研究所の「フリッパー号」に乗って、屏風ヶ浦クルーズ研修に参加しました。

この研修には、推進協議会事務局の岩本・山内学芸員を含め17名が参加しました。

この研修は、翌日の我々が最初に経験する屏風ヶ浦クルージングのために、どのようにガイドをしたらよいかを確かめるために、実行されたものでした。

あいにくの雨と多少の波の中ではありませんが海から見る屏風ヶ浦の雄大な光景を前にすると、

◎感想

学習支援の対象は伸びしろ無限の小学6年生で



感動すると共に、その壮麗さは、皆と共有することができたと思います。

乗船中に、岩本学芸員から春日層や小浜層などに刻まれた縞々の地層や層内褶曲などの解説があり、時々質問しながら、皆熱心に聞いていました。

その後文化会館に戻り、翌日のガイド本番にむけて、どのように話したら、見学者の皆さんに理解してもらえるのか、その方法論などを議論しました。

